

平成29年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	在宅就業障害者支援推進事業			担当部局庁	職業安定局雇用開発部			作成責任者		
事業開始年度	平成29年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	障害者雇用対策課地域就労支援室			地域就労支援室長 田中 歩		
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	-					
主要政策・施策	障害者施策			主要経費	社会保障					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	自宅等において請負形態での仕事に従事している在宅就業障害者については、雇用に移行する準備段階として、在宅就業の機会を確保し、その経験を有効に活用することが重要である。そこで、平成18年度に「在宅就業障害者支援制度」を創設し、在宅就業障害者又は「在宅就業支援団体」を介して業務を発注する企業に対して在宅障害者特例調整金等を支給することにより、企業からの発注を促進するための支援を実施している。このような取組を通じて、障害者の多様な働き方を実現する。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	現状の課題として、潜在的な在宅就業希望者や企業の発注ニーズの把握が行われていないとともに、在宅就業障害者や企業の発注ニーズの情報等が、在宅就業支援団体周辺の地域に限定されており、広域的な在宅就業障害者と企業双方のニーズの共有が十分に図れていない状況となっている。このため、障害者の潜在的な在宅就業希望ニーズや業務受注能力等について把握・整理し、広域的に企業や自治体の潜在的な発注ニーズや発注事例を把握・収集したうえで、双方のマッチングや業務発注の促進に資する企業等への周知・広報活動を通じて、在宅就業障害者支援制度の効果的な運用と在宅就業障害者の就業機会の安定的な確保を図る。									
実施方法	委託・請負									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	0	0	0	24				
		補正予算	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-				
	計		0	0	0	24	0			
	執行額									
執行率 (%)		-								
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		-								
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	高齢者等雇用安定促進事業委託費	24								
	諸謝金	0.2								
	委員等旅費	0								
	計	24	0							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度	
	セミナー参加者のアンケートで今後在宅就業支援団体に発注したいと答えた企業等の割合 70%以上	セミナー参加者のアンケートで今後在宅就業支援団体に発注したいと答えた企業等の割合	成果実績	%	-	-	-			
			目標値	%	-	-	-		70	
			達成度	%	-	-	-			
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	厚生労働省職業安定局調べ									
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込		
	マッチング事例集の印刷部数	活動実績	部	-	-	-				
当初見込み		部	-	-	-	1,200				
単位当たり コスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
	X/Y X=執行額(千円) Y=マッチング事例集の印刷部数(冊)	単位当たり コスト	円	-	-	-	20			
		計算式	X / Y	-	-	-	23,967/1,200			

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムの関係	政策	労働者等の特性に応じた雇用の安定・促進を図ること(IV-3)							
	施策	高齢者・障害者・若年者等の雇用の安定・促進を図ること(IV-3-1)							
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
			実績値	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
本事業を実施し、雇用に移行する準備段階として在宅就業の機会を確保し、その経験を有効に活用することができるため、労働者等の特性に応じた雇用の安定・促進に資する。									

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、一般の求職者と比して就職が困難である障害者の雇用促進を目的として実施しており、その点において、国民ニーズがあり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、国が行う障害者の雇用対策と一体的に実施しているものであるため、本事業の実施については、国が実施するほうが効率的かつ効果的。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は、一般の求職者と比して就職が困難である障害者の雇用促進を目的として実施しており、その点において、ニーズ及び優先度が高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争入札等、適切な調達を行う予定
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	本事業は、一般の求職者と比して就職が困難である障害者の雇用促進を目的として実施しており、その点において、ニーズ及び優先度が高い。	
	改善の方向性	-	

外部有識者の所見

外部点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

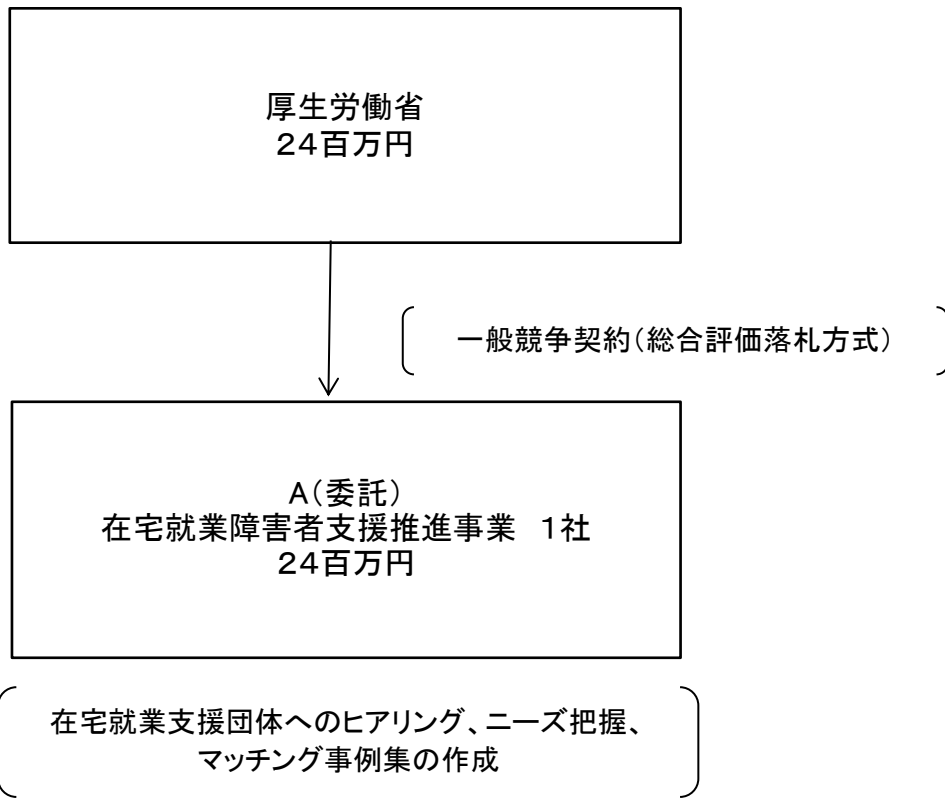
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度		平成23年度		平成24年度		
平成25年度		平成26年度		平成27年度		
平成28年度						

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・用途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
-	-	-	-	-	-
計		0	計		0

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	-	-	-	-		-	--	
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	--	